



発行所:ほかにわ共和国
発行責任者:志賀俊紀
編集責任者:ほかにわ広報部

今年度の表紙テーマは、「喜び」と「癒し」です。施設は「何ができるか」「何を求められているか」豊かな生活の実現に向けた取り組みとは何か

寮生活に癒しを求めて

八雲寮寮長 志賀俊紀

団体生活の中に「癒し」と「喜び」を見つけることが本年度のテーマにしていますが、支える職員要素、生活のリズムなどについて考えてみました。そして、「癒し」と「喜び」を可視化するのが行事等で重要なパフォーマンスであります。そして癒しは、時として個人ばかりでなく、団体全体で感じることに関与します。先般開催された五輪であり



令和元年10月親子一泊旅行の余暇の時職員の掲げた「正解」のパネルと同時に満面の喜びで、ピースのポーズの宮崎さんご兄弟です。



ますが、パラリンピックの選手たちの活躍を見て、「癒される」という結果であります。そういった視点から見ると、「選手たちの晴やかなピースのポーズ」にはその要素がたくさん見受けられました。例えばピースをする側と見る側の相互に働く「共感」の絆です。

そこに相互の癒しが存在すると考えられるのです。生活を共にしている寮生を見た場合、安全で仲間と暮らせる環境が成立していなければ、これらの行為(ピースのポーズ)は発生してこない。この具体的事例が、戦火で混乱している子供たちの写真にこれらのポーズが見受けられることはないのです。

つまり、癒しの段階ではないのが見て取れる。平和だからこそ、我々の施設の日常に笑いか喜びとかが醸成されているのであると考えられます。

喜びのある日常

あたり前の日常が大きく変わり2年余りが経ちました。施設も例外ではありません。当たり前のように家族と顔を合わせる機会や、一緒に出掛けることも制限する状況にありました。施設の対応は国の方針とはいえ正しかったのか、寂しい時間となったことは確かです。ふと、「自分の仕事とは何だろう」と考えると、苦手な事をお世話する事・仕事を教えること、不満があれば相談すること、など挙げればきりがありません。しかしながら、それは当たり前前で、福祉の仕事は「利用者喜びさせる」ことではないかと思えます。もちろん「喜びさせる」ことは、好きなことばかりではありません。

<笑い幸せ> 幸せだから笑うではなく、 笑うから幸せになれる

武蔵村山市立第一小学校の鶴田校長先生が「学校だより」で書かれた笑いの豆知識の中で印象に残ったものをご紹介します。

- ① 「笑顔でいると頼りにされる。」
- ② 「笑うと脳が活性化する。」
- ③ 「子供は1日平均400回笑う。大人になると15回に減る。」

私達職員が、日常的に仕事をしている時に笑顔が多いと利用者の方々に喋りかけられたり、お願いされたりする事が多いように思える。また、笑う場面が多い時には良いアイデアが浮かんだり、仕事の進み具合も良くなったりとする事が多く、笑い声を聞くと心が朗らかになる。

様々な行事を通じて、利用者の方々とさらに「心底笑い合える関係性」を築いていけるようになっていきたいし、一緒に笑える回数を増やせるようにしたい。「笑う」=「幸せ」と、細でいけるように日々の生活を大切にしていきたいと思う。

副主事 中村要平



町内の海岸に新しく設置されたブランコ
左から 土橋さん、塩田さん、山本さん

八雲寮での生活を始めて一年半が経ち、森塚(すばる)さんのお母さんにご意見と要望、我が子に対する思いを伺いました。

●生活の場である「八雲寮」へのご要望は？

母:安心して、本人が楽しんで日常生活が送れるように支援をお願いしたいです。

●就労の場である「ワークネットやはた」へのご要望は？

母:本人ができる仕事を見つけていただき、就労ができていけるように指導をお願いしたいです。

●今後、本人に期待する事・どのように成長して欲しいですか？

母:短文でもいいので、言葉で相手に沢山自分の思いを伝えられるようになって欲しいです。

●保護者の方の「思い」

八雲寮に入り、統が携帯で八雲寮周辺地図を熱心に見ていたのを今でも覚えています。みんなと同じように、不安や心配・楽しみを統ながらに感じていたんですね。これから沢山、八雲寮やワークネットやはたで、楽しみや喜びを感じてほしいと思います。

八雲寮 森塚 母より

総務主事 松尾喜一

特集

令和二年一月の国内初の感染者確認からもうすぐ二年になる新型コロナウイルスの流行は深刻でした。デイ雲の場合を例に、事業所運営の振り返りと課題をまとめました。

新型コロナウイルスと事業所運営

デイ雲は通所事業所で毎日多くの利用者の方が来所されますが、幸い現在まで感染者の発生はなく、休業もせずに事業運営が行えています。その背景に、利用者の方々と保護者等関係者の協力があります。

昨年の全国一斉休校期間中は、保護者の要望もあり放課後等デイサービスで児童の受入に対応しました。

行事については、感染拡大地域への外出・外部との接触を伴うものは基本的に中止していますが、まずは、内容の検討感染防止対策の徹底をすることで規模を縮小してでも利用者の方が安全に楽しめる



時間が増えた創作活動は毎月1テーマ・全員で1つの作品ができるよう工夫している



ほかにわ共和国の動き

- 11月13日 ほかにわ神社祭
- 12月28日 理事会
ほかにわ歳忘れ祭
- 1月5日 職員新年研修会

※中止・延期になる場合があります。

ほかにわ神社祭について

今年の神社祭は、昨年と同様に感染症対策のため規模を縮小し、11月13日(土)利用者・職員のみで開催致します。



売りたいがなう@



ブラックベリーは、ビタミンC、ビタミンEが豊富で、抗酸化作用があり、免疫力を高めます。またアントシアニンが、目の機能の改善や眼精疲労に効果があります。

柿の木のブラックベリージャム、ぜひ黒糖食パンと共にご賞味あれ。
(デイ雲柿の木)

る行事を提供しています。一年間の締めくくりとして行っている活動発表会も令和二年度は無観客にて実施し、外部団体には映像による参加協力で対応しました。利用者の方が施設内で過ごす時間が増えています。昨年度から創作やレクリエーション活動の見直しを実施し、充実した時間になるよう心がけています。

コロナ禍での気づき

コロナ禍が改めて人間同士のコミュニケーションについて考え直すきっかけになっています。現在、あらゆる所で急速にオンライン化が進んでいますが、福祉の現場では対人・対面でしかできないことがまだまだ多くあります。食事・入浴などの介助、作業を通じた機能訓練、細かい表情やしぐさから喜怒哀楽を読み取る技術など利用者の立場になって、私達職員にしかできないことに、注意しています。

また職員間では、できるだけ多くの意見を出し合い創意工夫することが大事だと感じています。

これからの課題

まず、地域のイベントや交流事業が中止・延期となる中で地域とのつながりをど

自然災害への備え

毎年のように自然災害が発生している昨今、特に今夏の集中豪雨と被害は、自然災害について考え直す機会でもありました。

災害の備えとして消防署の協力を得て、事業所ごとの避難・消火訓練の他に、権田地区の3事業所合同での訓練を実施しています。年々自力での歩行が難しくなっている利用者の方々も増えており、誘導・介助の方法の確認・見直しが大事です。

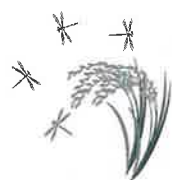
消防署には他にも、研修会や救急救命講習でも協力をいただいています。災害時には「自助」「共助」「公助」の3つの連携が必要だと言われていますが、訓練や研修で「自助」「共助」の意識をあらためて、防災力を高めたいです。(小山)

デイ雲 総務主事 福田 亮



コンサートチケットも大切にしています。

音楽は、五感のあるひとつに訴えかけて、魅了するものだと思う。
コロナが収束し今までの日常が戻り、会場で会って、思いきり楽しみたいです。
悠炉里 荒木美和



MY FIRM

私はBzのコンサートに行くのが楽しみのひとつです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、外出する事が難しくなってきたからは、当たり前で行っていたコンサートの開催も無くなってしまいました。昨年無観客での配信ライブを初めて観て、新しいときめきが生まれました。



障害者支援施設 八雲寮広報部

何が当たるかなあ〜？

夏本番にさしかかった八月六日、中庭にて、夏祭りが行われました。当日は、晴天にも恵まれ綺麗な夕焼けを見ながらの開催

会場内には提灯がぶら下がり、趣向を凝らしたメニューの出店が立ち並んでいました。やはり、外で食べるご飯やビールは格別なようで、皆さん箸が止まらないようでした。今年、何かいつもとは違う店を出店したいと職員で考えました。空くじなしのクジ引きが良いのでは？との意見があり、町のお祭りでよく目にする店をイメージすることにしました。

ご飯もある程度食べ終わり、クジを引く為の列ができて始め



ていました。券と引き換えに箱の中からドキドキしながら番号札を引き、自分で商品を見つけました。くじ引きの全ての商品は育成

会からの助成金によるものです。感謝申し上げます。全国的にコロナ感染者数は減ってきてはいますがまだまだ油断ができません。状況です。

当たり前にご家族の方々から自由に面会でき、一緒に大きい笑い声を出しながら行事に参加できるような日々に早くなりますように。 (要平)



トートバックが当たった水野さん

お月見会

9月22日に食堂にてお月見会を行いました。月見について知ってもらうため、月見に関する動画を見ました。動画を見ながら納得して頷く動作や声が、食堂内で聞こえていました。

そして、お月見気分を味わってもらうためにデザートを用意しました。3種類ある内の2つと、コーヒーをブラックか砂糖入りかを各自選んでもらい席に着いてもらいました。丸い月のような大福やウサギの形をしたゼリーなどを食べました。「ウサギの形しとる!」、「おいか〜」と、皆さん楽しそうにおやつを頬張っていました。

行事は、季節を感じるには必要なものです。四季折々の風を感じてもらえるような企画を立てていきたいです。



3種のおやつ

(松島)



栄一さん硬筆作

「人生一生勉強」という言葉があるように、長い時間かけ、自分もそうですが、利用者の方々も一緒に沢山の大きな「粒」を作れるように頑張りたいと思います。 (林田)



クラブ紹介〜習字〜

今年の年間計画を立てる時「毛筆って、ほとんど使わんよね?」と、いう意見がでてきました。そこで、使用頻度の高い「鉛筆」を使い、月替わりで硬筆の練習もすることに決定しました。

一人ひとり、専用のノートと鉛筆を購入して練習開始。まずは自分の名前の練習を行い、次に挨拶や季節の練習を行いました。

書いていく内にマスタいっばいの字を書くのが難しい等の課題も出てきています。練習の成果は3月

- 今後の行事
- 11月行事 秋の遠足 ホーム活動
 - 12月行事 利用者忘年会 クリスマス会 ホーム活動



ニンニク植え付け

残暑が残る九月初旬に権田の実習園に植え付けを行いました。最初の作業と言えば畑作り。植え付けを行う二〜三週間前には肥料を撒いて耕し畝(うね)を作ってマルチを張ります。

植え付けの様子 (左) 優大さん (右) 田口さん



がんばらんば宣言

毎号掲載しているがんばらんば宣言 今回ご紹介するのは・・・?

岡部翔太さん

千代垣荘の余暇時間でハマっているのは塗り絵です。ワークのお仕事も頑張ってます。今の生活も楽しいです。



令和3年2月1日 千代垣荘入所

じゃがいも雑感!

新型コロナ禍での外出・面会規制により子供に会えず寂しい思いをされている保護者の方も多いと思います。

例年であれば、親子旅行や運動会などの「親子の時間」「兄弟との時間」を設ける機会も年間を通じて増えたのですが、なかなかコロナ終息とはまだまだいえないようです。

日本ではワクチン接種率が上昇するにつれて、移動の制限が緩和されるとも言われています。しかしながら、感染蔓延地域の方と接したり、出掛けていく事にはやはり怖さがあります。

少しでも共に過ごせる特別な時間が設けられ、利用者の方々の楽しみも増えるような行事が実施できるように、職員一同、知恵を絞りながら今後も努めてまいります。

それは、親が子を想いやる、お互いがいくつになっても変わらないものだと思う。施設の親心からの由縁ですから。

(大島)

デイ雲

10月号 No.203



夏から初秋のデイ雲の行事は、新型コロナウイルス第五波の感染拡大の中、感染防止対策をとったうえで実施となった。

涼 そうめん流し

中止となったほかに、お夏祭りの代替行事として、八月十二日、昨年好評だった竹を使ったそうめん流しを、今年も調理員の草野さんの協力を頂いて多目的施設「東望」で実施しました。

いも見られましたが、徐々に慣れて上手く掴むことができていました。

お腹いっぱいになった後は、夏らしいデザートとして手作りのソーダフロートを堪能。

雨天のため、予定していたスイカ割りができなかったのが残念です。

夏祭りは中止となりましたが、ゆつくりと楽しい時間が過ごせた一日でした。

(小山)



今年も美味!

季節が秋になる9月、有家の山口梨園さんへ恒例の果物狩りに出かけました。今年は感染予防のため2日間に分け実施。梨園に着くと頭の高さに様々な大きさの梨。利用者さんは説明を受ける前から「コレにしよう」と選ばれていました。

収穫後にはお互い大きさの競い合い。手に余るほどの大きな梨をお土産にいただき、デイ雲に着いてからも「大きかろう」と見せてまわるほど大喜びでした。自分の手で収穫した梨の味はさぞかし美味しかったことでしょう。(高松)



安全な支援を目指して～事業所内研修～

高齢化が進む現在、デイ雲では5台の車いすがフル活動しています。8月の終わりに支援上のリスクを考え、もう一度基本にもどり「安心」「安全」な車いす操作ができるように、事業所内研修を実施。実際に自分たちが車いすに乗り利用者目線に立った使い方の講習を行いました。今後も事故のないよう心がけていきます。(吉田)



放課後等デイサービスでの思い出づくり



今夏は雨の日が多かったです。晴れた日は中庭に設置したプールで遊ぶ姿が印象的でした。コロナ禍での自粛による子どもたちのストレスもデイ雲で有意義な時間を過ごすことで少しでも解消できればと考えています。(山本)

夏の締めくくりに活動を計画し、県のコロナ感染のステージが引き上げられたため外出予定を室内活動へと変更しました。おやつを景品にゴム銃の射的や的当てのゲームを楽しみました。昼食は皆が大好きなカレーライスを手作りし、お替りも完全。

午後の活動は昨年大ブームにな



(山本)



新規採用職員の紹介です。

福祉の仕事をするのは始めてですが利用者の皆さんへ楽しく、少しでも役に立つ支援を行いたいと思います。



生活支援員 小田鉄也さん

雲と虹

行事予定 11・12月

- 温泉浴・紅葉見物
- クリスマス会
- 利用者忘年会

※状況により延期・中止になる場合があります。

一年遅れで開催されたオリンピック・パラリンピックもテレビの中で盛り上がり、夏の思い出となった。デイ雲の夏休みも希望の中庭プールが今年も大盛況で子どもたちにとって楽しい思い出となったようだ。季節外れの長雨にうとうとらしい残暑を過ぎると運動会・神社祭と心待ちにされている、法入行事の季節となる。事業所内でも温泉浴・紅葉見物と毎年楽しみにされている行事が待っている。新型コロナウイルス対応という難しい課題は残ったままだが、利用者の方々が満足できる思い出作りとして計画・実施していきたい。職員全員で協力していきたい。(山本)

悠炉里

共同生活援助事業所
(介護サービス包括型)
悠炉里広報誌

健康の基本は食事から

四月より悠炉里の食事に携わっていますが、ここ数年で糖尿病と診断された利用者が何人もいる事がこのグループホームで問題になっています。日々の食生活も病気と隣り合わせで、偏った食事や運動不足も要因に挙げられると思います。

まず目を付けたのが毎週

日曜日の朝食のパンです。パン好きな利用者が多く、毎月第一日曜日の菓子パンに関しては、一人二個好きなパンを食べ、副菜・果物など一日の摂取カロリーの約半分を朝食で摂っていた事に驚き、給食会議で検討することになりました。

利用者にアンケートを取り楽しさを増やすことも考え、月二回に菓子パン食を増やす代わりに一人一個としました。初めは「少ななかー」との意見もありましたが、今では定着しています。



うーん、味わい深い!!

利用者皆さんの健康面も考えながら楽しさは増える様に、これからも精進していきたいと思えます。
栄養士 安藤友美



みんなでの食事は美味しいね!

「祭りらしく」を大切に



法人の夏祭りを、事業所別、と工夫してから2年。今年の夏は去年よりももっと思考を凝らし、さらに利用者の笑顔を引き出せるように考えました!



今年初のフランクフルト!

「工夫」するから楽しい!



夏といたらかき氷♪

屋台のメニュー、イベント、時間帯を再考し、売り切れず、たくさんの品目が行き渡るようにチケット制にしました。皆さんに楽しんでもらえたでしょうか? 来年はさらに最高の笑顔を狙います! (生川)



すすきの穂と柿の実



10月号

悠炉里の秋

職員駐車場の脇に秋を見つけました! 季節はちゃんと移ろっているんだなあ... (荒木)

スポットライト



今年四月から三カ月の見習い期間を経て、一般就労した大平裕也さん。毎日素麺づくりの仕事を頑張っています。今の生活をどう感じているのか質問してみました!

- Q. 職場で気をつけていることは何ですか?
- A. 「社員に迷惑をかけない様に仕事を頑張っていることです!」
- Q. 趣味は何ですか?
- A. 「乃木坂46のCDを聴くことです!」
- Q. 今後の目標を教えてください!
- A. 「一人暮らしを目指し、お金の管理を頑張りたいです!」

身体機能向上を目指します

身体・運動機能低下が課題となっている杜垣荘のホーム活動では歩行訓練を取り入れ、少しでも生活が安全・快適に送れるように考えました。



ちょっと一休憩♪

近所の権田公園へ出掛け、歩行訓練です。当日は天候も良く、外出日和でした。歩行が困難な方は車で移動し徒歩で行ける方は途中で休憩をとりながら権田公園まで頑張ってきました。今回の歩行訓練では個々の体力に合わせた活動を行いました。日頃、体を動かすことがない為、数歩移動したら座りこんでしまうという利用者の方もいました。今後も定期的に歩行訓練を取り入れ、利用者が快適に生活できるようにするための支援を計画していきたいと思えます。



権田公園まで歩きました!

(井上)

ごゆるりと



この紙面記事に掲載されている「祭りらしくを大切に」≡工夫するから楽しい!≡というキーワードがコロナ禍の中、利用者を楽しんでもらう為には、どういった取り組みが必要なのかを精一杯考えた結果の言葉だと感じる。
支援者と利用者が一緒に楽しむといった事が難しい昨今、利用者との思い出が私達のやりがい、大切に繋がっていると実感させられた。
そして、何より私達支援者同士が、この「工夫」に対しての認識を新たにし、新しい発見を見つければ、支援力の向上に重要な。そして一人ひとりの個性を見つめる重要な「時」がやってきた。

(大場)

我ち愛

障害福祉サービス
ワークネットやはた
広報誌 10月号

コロナ禍での楽しみを求めて

毎年八月に開催されている法人の夏祭りが中止となり、今年も各事業所、小規模での実施となりました。

単なる活動ではなく、コロナ禍における安全な外出及び外食の実施方法を習得することを目的に加え、感染症対策を十分に考慮しつつ、三つのグループに分けて町内の飲食店へ行ってきました。



ワークネットやはたの“この人”

名前 鴨川 肇さん 70歳

出身 佐世保市出身

Q 仕事は何をがんばっていますか？

A クルスの箱折りをしています。

Q 休みの日は何をしていますか？

A 散歩しながら見物。

Q 今やりたいことは何ですか？

A 温泉に行っちゃんぼんを食べてビールを飲むことです。

Q これから紙加工班で頑張りたい事は？

A 自分のペースで箱折りをしながら皆と仲良く頑張っていきたいです。



うな重おいしかったです！



抽選会の様子。特等は(左)永石悟さん 1等は(右)松田雅久さん

店内での会話は控え、マスクや手指消毒を行い、それぞれ好きなメニューを選択。久しぶりの行事といったこともあり、満喫したいところではあったが、清楚に過ごす必要性を感じて行動も慎ましくなってきた様子。利用者の方たちもコロナ禍でのマナーを意識し、静かに楽しく参加できていたようでした。

昼食後は、体育館にて「大抽選会」を開催。特等賞を目指し、神頼みさされている方もいました。夏の終わりに少しでも楽しい思い出が作れたのではないのでしょうか。これからできることを工夫して仕事への活力に繋げていきたいと思えます。(松尾)

HAPPY BIRTHDAY

誕生日会では、小浜食糧ボンパティのお菓子の詰め合わせと5種類のワッフルから2種類選んでもらい利用者の方にプレゼントしています。

昼食時に皆の前で誕生者を紹介し、コロナ禍の中、お祝いの歌も歌えず音楽を流していますが、皆さん嬉しそうにされています。後日、利用者の方から「来月は私だよ」「ワッフルがすごい楽しみです」と嬉しい報告もあり、1年に1度の誕生日を皆で祝っていきなさいと思います。おめでとうございます！(林田)



園芸班のお仕事

園芸班では、市の委託を受け、町内外の公園除草を行っています。

利用者の方も草刈り機や鎌を使用し、安全を確認しながら取り組めます。作業終了後は綺麗になった公園を見て達成感と同時に素敵な笑顔を見せてくれます。さっそく「次はいつ」と次回除草作業を楽しみにしています。(小笠原)



切った草はトラックへ



カラオケに行きたーい♪

ワークの歌手松田康宏さんを紹介し、毎日昼食後、作業棟のラジカセの前で演歌からアニメソング、アイドルグループまで、その日によってジャンルを変えながら歌っています。

コロナの関係でカラオケが難しい分歌うことでストレス発散しているようです。

その調子で昼の作業も頑張りましょう。(白石)



散歩道

感染症の話題も次第に世間には陳腐になってきた中、十月からはまた値上げのラッシュ。煙草に輸入小麦、油脂にコーヒート始まり、電気やガスまでと生活を直撃。コロナで経済回復が見込めない上に、消費者の負担が徐々に増えていく。全国の最低賃金が数年ぶりに大幅に改定になった。その効果は、個々の家庭には見えていないような気がするの私だけだろうか。そして賃金改善の波紋は、被扶養者であるパート労働者への影響があることも事実だ。事業者は対応が求められる課題も多い。

岸田新内閣に、ぜひ国民全体の生活と障害者の働く場に重視する政治を望みたい。(白倉)

今後の行事

- 鍛錬遠足
- クリスマス会(食堂)
- 利用者忘年会(予定)

しんぼ、しんぼ



新たな出会いから学ぶこと

夏休みが始まる頃から、非常事態が続く日本各地で未曾有の大規模な雨や川の氾濫等の自然災害に見舞われました。

華やかであるはずの東京オリ・パラリンピックでさえ人々の心にどれほど残ったのか、テレビから情報だけが空虚に流れて、使い捨てられていくように感じました。

それでも、夏の間子ども達の元気な声が、園舎に響き渡りました。春にバイトに来た頼基君が友達の影響を誘い、今夏は、三名のバイトの方に恵まれました。

感染予防に充分な配慮をした上での受入れは、難しい事も多いのですが、

伝え！ありがとう

この状況だからこそ地元を向ける若者が増えていくように感じ好機と思っています。

実際、数年間アルバイトをする学生は殆ど見つからなせんでした。それは、部活動が活発で、遠出も多かったからでしょう。

準備し、電卓で計算してレジに進むというよりリアルな訓練を、本番に望みました。

しかし弁当が、並ぶドリームランドで視線は倍速。予算内に収まる一品を中々決められず、飲み物やデザートも誘惑してきます。彼らの「予算と欲望との闘い」は、きっと来月も続く事



由香里さん 響くん 頼基くん ありがとう

でしよう。(森内)

きつかけはどうあれ、福祉の仕事に対するマイナスイメージが、彼らのように、直接ふれあう事によって、今までの価値観が変わって、プラスに変化すれば、もともととと障碍児者が、社会に当たり前に溶け込む架け橋となるように期待したいのです。

心から、ありがとうの感謝を伝えます。(由)

何か・・・な気分♡

絵：石川智広さん作

職員が取り組むQC活動で、現状調査のため利用者の皆さんに、タイムカードを使用してもらいました。就労経験があり、使用したことがあるという方もいる中、ほとんどが初体験で、初日は大混乱でした。しかし、慣れてくるとタイムカードの前には大行列が出来、それを楽しみにする利用者の表情を伺うことができました。私たち職員が普段当たり前に行っている事が、何か、大きな可能性を秘めているのだと感じました。(知佐美)



ようこそ柿の木へ☆



八月に入社した山下啓人(ひろと)です。私は、パン・菓子製造を主に頑張っています。今まで福祉に携わったこともなく、入社したばかりで何もわからず、とても不安でしたが、職員の皆さんに色々なことを教えて頂き、少しずつですが、わかることも増えてきました。

利用者の方が、教えてくれる事も多く、とても助かっています。これからも大変な事があると思いますが、利用者の方の事をもっと知り、仲良くなれるようにがんばりたいです。

言の葉

11月の行事

- 17日 誕生会
- 24日 ファミリー外出※

※印は参加費あり
(注) ファミリー外出は、新型コロナウイルス感染症の感染状態で内容を検討します。

血液型診断って信じますか？
デイ雲柿の木では、職員の性格を血液型で語り合う事がよくあり、A型が九人、B型七人、O型二人、AB型が二人の構成は、日本人のABO式血液型の割合からすると、B型の職員が多めの職場です。

血液型診断は、科学的根拠は無いとも言われ、海外では自身の血液型を知らない人がほとんどなのだそう。日本人が血液型によって相手の印象を決めつけてしまう事は少なくありませんが、初対面や慣れない相手との会話で「血液型何型？」というのは、相手との距離をぐっと縮める会話の道具としては、有効な場面がよくあります。

かく言う私はB型です。なぜか不思議と悪いイメージで使われやすいと感じます。長所の「マイペース」は、短所の「わがまま」。誰もが持つ表裏一体の性格があることで共感しながら、会話術を鍛えます。ただ、B型への偏見は、ほどほどにしてほしいと願います。(恵理)

毎月実施される厨房の清掃日は「お弁当の日」です。現金を持参してお店で購入するか、家から弁当を持ってくるかは自由です。お店で購入する場合は、予算内に収まるかどうかは大きな課題です。そこで九月は、写真と値札を貼った弁当や飲み物等を

欲望との闘い

準備し、電卓で計算してレジに進むというよりリアルな訓練を、本番に望みました。しかし弁当が、並ぶドリームランドで視線は倍速。予算内に収まる一品を中々決められず、飲み物やデザートも誘惑してきます。彼らの「予算と欲望との闘い」は、きっと来月も続く事



「ガスー」の「かき」のキッキング!

—GHと日中の献立と調理を担当する栄養士ニコ

「ガスー」に人気メニューを紹介してもらいましょう



今回ご紹介するのは、『柿の木弁当』です。毎週水曜日は「弁当の日」で、これは買い物へ行く月一回の弁当の日とは違い、柿の木の給食をお弁当箱で提供する日となります。

今回のお弁当は、秋の味覚を満喫できるメニューで、新生姜ご飯、秋刀魚、筑前煮、おはぎ。体に染み渡るお弁当となったようです。

